

家族で 子育て Q&A ①



Q お正月、子供がお年玉の額で人を評価するようにならないか、心配です。

A 大人が手本を見せることです。お金の上手な使い方も教
えましょう。

感謝を表すマナーを

お年玉の額は子供の年齢によつて違いますね。小学校低学年は千円から三千円、小学校高学年は三千円から五千円、中学・高校生は五千円から1万円が一般的なようです。

景気にも左右されますが、あの調査によると、子供一人がい
ただく総額は小学生で3万3千
円、中学生4万2千円、高校生
4万8千円前後ですから、子供
にはかなりの額です。

近年は、少子化で孫の数が少
なくなっています。お正月に、
かわいい孫に会えるとなると、

小学校低学年でも、ポチ袋に1
万円の新札を入れる祖父母が少
なくありません。

一方、小学生には千円と決め
ている人もいます。額は子供と
の関係にもよりますから、お年
玉の金額が人や家庭によつて違
うのは当然ではないでしょうか。

一人あたりの額が高い場合、
お年玉をあげる子供の数が多
いと、かなりの負担になります。
また、子供に高額のお金を与え
るのは教育的によくない、とい
う考え方もあります。

大切なことは、子供がもらっ
たお年玉の額にかかわらず、ま
ず親が感謝の気持ちを持つこと

です。子供にはその親の心が伝
わります。そして親がしっかり
相手に礼を述べ、子供には、感
謝の気持ちを表現するマナーを
教えます。

一つ買って残りは貯金

そしてお小遣いが増えた機会
に、子供にお金の上手な使い方
を教えましょう。

例えば、普段のお小遣いでは
買えないものを一つ選ばせて購
入し、残りは貯金させるのがい
いでしょ。お金の使い方と、
貯金することの意義の両方を学
ぶことができます。